

2024年度

中間期決算の概要

2024年11月14日



ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

みずほフィナンシャルグループ

〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身近に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリーやウェルビーイングの実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献するとともに、経済だけでなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

今回、東京藝術大学デザイン科の学生の方に、〈みずほ〉のパーパス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。

株主・投資家の皆さま向けの決算資料の表紙にアート作品を掲載するのは、2023年11月を初の試みとし、今回が5作品目です。



作 者 **家原 流太**
東京藝術大学 デザイン科 4年

作品名 **「咲く」**

花は、一口に花と言っても、それぞれ違った形、色、魅力を持っています。

そして、それは私たちも同じです。

様々な価値観・個性を持つ人々や企業の、夢と幸福な人生の実りへと祈りを込めて、

ともに咲き開く様子を表現しました。



FY24 上期実績

- ✓ 非金利収支の着実な増加・バンキング収益の拡大に加え、日銀による政策金利引き上げ効果にも支えられ連結業務純益は大幅増益
- ✓ 親会社株主純利益も年度計画7,500億円に対して75%と高い進捗

FY24 業績見通し

- ✓ 上期決算の高い進捗や7月の日銀による政策金利引き上げ効果を踏まえ、業績見通しを上方修正
連結業務純益：1兆1,700億円（5月公表比+1,000億円）
親会社株主純利益：8,200億円（同+700億円）

株主還元

- ✓ FY24年間配当予想を130円/株（同+15円）に増額
- ✓ 1,000億円（上限）の自己株式取得を決議

決算の概要

(億円)	FY24 中間期	前年同期比
1 連結粗利益 ^{*1}	① 15,615	+2,303
2 経費 ^{*2}	② △8,857	△896
3 連結業務純益 ^{*1}	③ 6,966	+1,422
4 うち顧客部門	4,173	+258 ^{*4}
5 うち市場部門	2,333	+1,020 ^{*4}
6 与信関係費用	④ 146	+257
7 株式等関係損益 ^{*3}	390	+228
8 経常利益	7,470	+1,729
9 特別損益	440 ^{*5}	+218
10 親会社株主純利益	⑤ 5,661	+1,503
(ご参考)		
11 連結ROE ^{*6} (直近12ヵ月)	⑥ 8.9%	+1.6%
12 経費率 (2÷1)	56.7%	△3.0%

① 連結粗利益：

顧客部門が国内外ともに堅調に推移したことに加え、市場環境を捉えたバンキング収益の拡大もあり大幅増益

② 経費：

インフレ等の環境要因に加え、成長領域やガバナンス等の経営基盤への資源投下により増加

③ 連結業務純益：

トップラインの拡大を主因に前年同期比+25%の増益。年度計画10,700億円に対する進捗率は65%と堅調に推移

④ 与信関係費用：

費用発生が総じて低位で推移したことに加え、国内外の一部個社で戻入益を計上

⑤ 親会社株主純利益：

連結業務純益の拡大を主因に前年同期比+36%の増益。年度計画7,500億円に対して75%と高い進捗

⑥ 連結ROE：

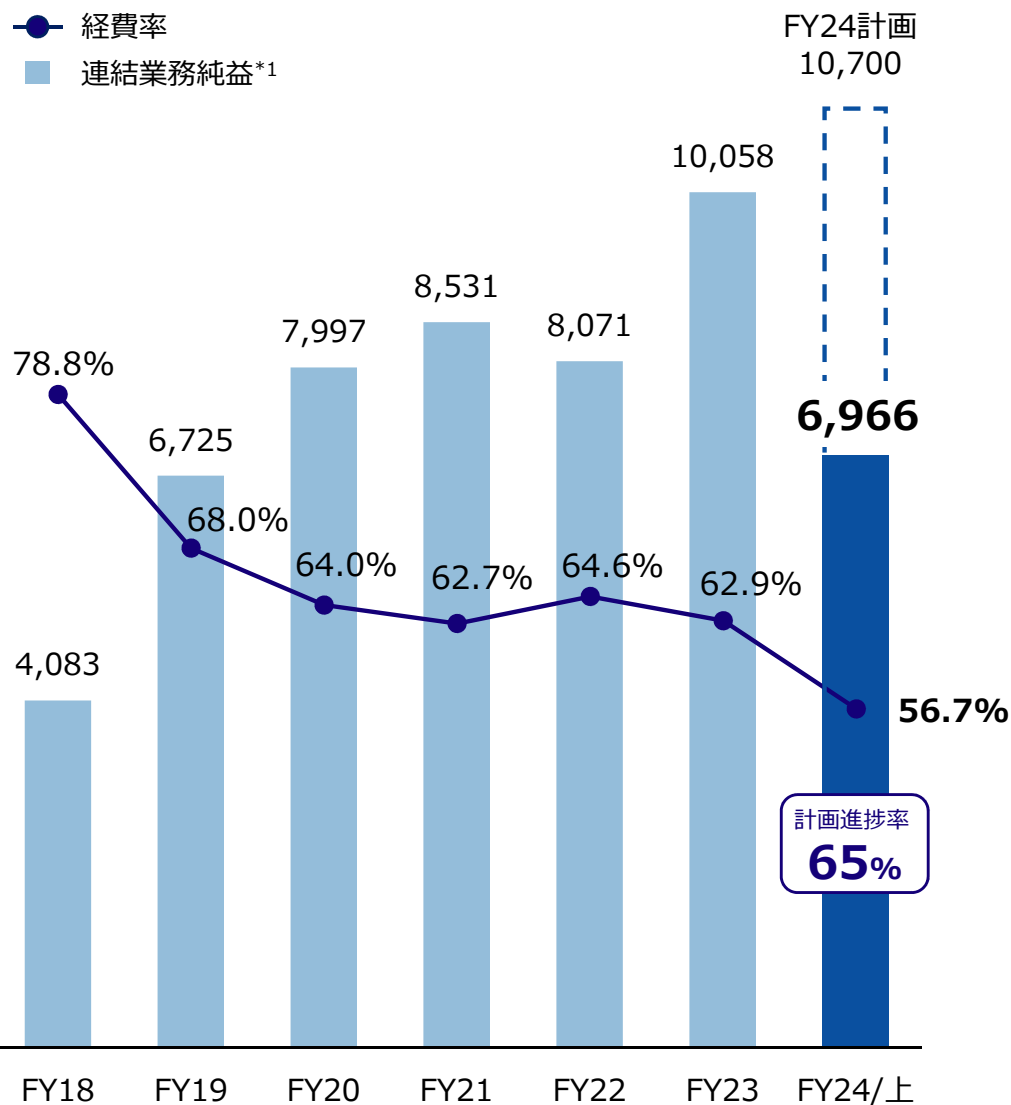
利益成長と効率性改善により前年同期比+1.6%ptの良化

*1: ETF関係損益等408億円（前年同期比+225億円）を含む *2: 臨時処理分等を除く *3: ETF関係損益等を除く *4: 前年同期の計数をFY24管理会計ルールに組み替えて算出

*5: 退職給付信託返還益37億円（前年同期比△149億円）を含む *6: その他有価証券評価差額金を除く

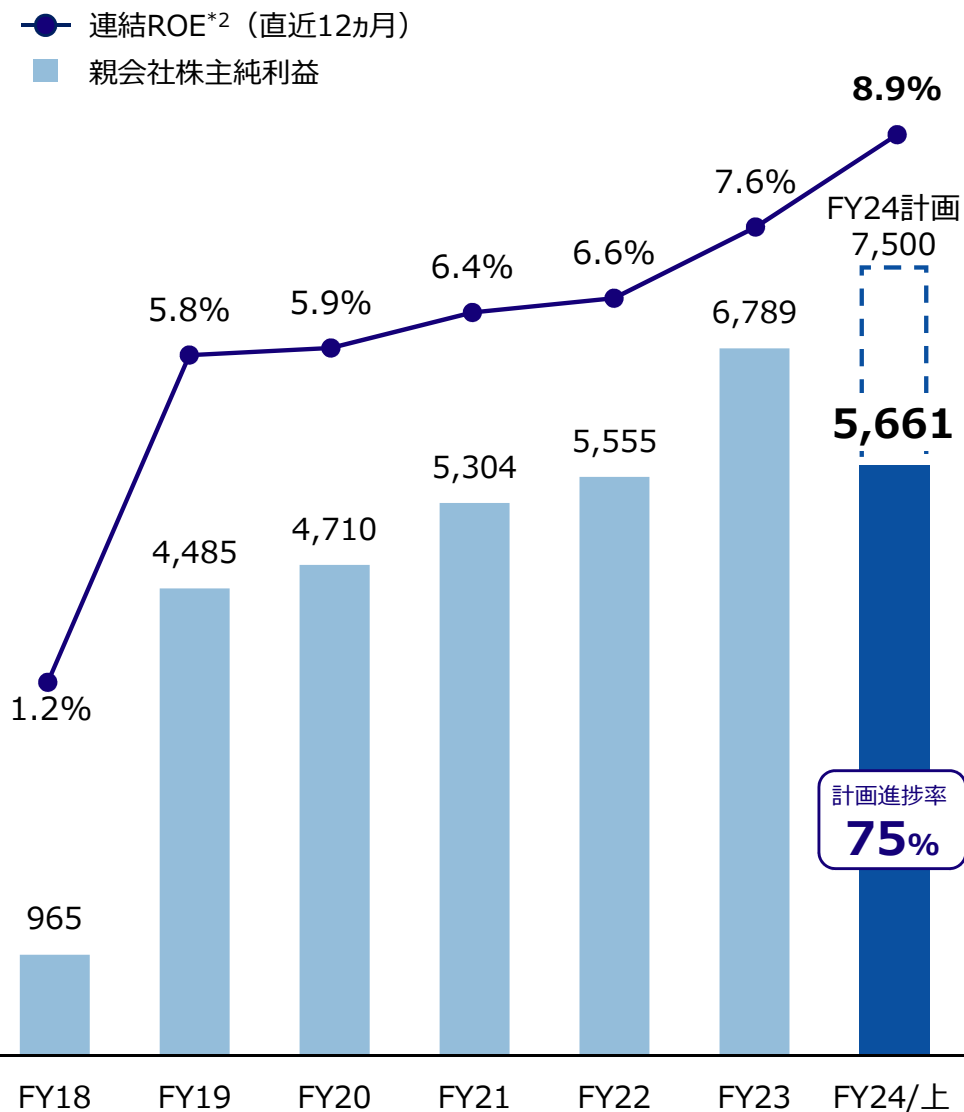
連結業務純益・経費率

(億円)



親会社株主純利益・連結ROE

(億円)



*1: ETF関係損益等を含む *2: その他有価証券評価差額金を除く

カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、速報値

	業務粗利益		経費		業務純益		中間純利益		ROE ^{*3}
	FY24 中間期	前年同期比 ^{*1}	FY24 中間期	前年同期比 ^{*1}	FY24 中間期	前年同期比 ^{*1}	FY24 中間期	前年同期比 ^{*1}	FY24 中間期
顧客部門	10,958	+1,141	△6,957	△877	4,173	+258	3,784	+841	8.2%
RBC	3,799	+319	△3,436	△349	405	△45	584	+235	3.8%
CIBC	3,012	+396	△1,167	△126	1,900	+289	1,945	+857	10.9%
GCIBC	3,851	+407	△2,172	△390	1,782	△9	1,223	△266	8.6%
AMC	296	+20	△183	△11	85	+22	32	+14	-
市場部門 (GMC) ^{*2}	4,013	+1,162	△1,680	△142	2,333	+1,020	1,634	+716	7.0%
バンキング ^{*2}	1,769	+878	△271	△45	1,498	+834			
セールス & トレーディング	2,244	+283	△1,408	△96	836	+187			

*1: 前年同期の計数をFY24管理会計ルールに組み替えて算出 *2: 2行合算のETF関係損益を含む *3: カンパニー別ROE：直近12ヵ月

B/Sの概要*1（24年9月末）

総資産 277兆円 (△1.3)

貸出金

92 (△0.4)

有価証券

38 (△0.0)

日本国債	10.9 (△0.5)
外国債券	17.3 (+1.4)
日本株式	3.5 (△0.1)

その他

146 (△0.8)

現金・預け金	71.6 (△1.3)
うち日銀預け金*2	57.0 (△0.4)

預金・譲渡性預金

167 (△3.5)

RBC個人*3	47.1 (△0.0)
RBC法人*3	31.9 (△0.7)
CIBC*3	42.7 (△4.1)
GCIBC*3	25.1 (△2.4)

その他

98 (+1.8)

純資産

10 (+0.4)

うち外貨建て*3

- 貸出金を顧客預金と社債・通貨スワップ等の安定的な中長期調達でカバー

5,305億ドル (+144)

貸出金*4

2,594 (+83)

有価証券

1,144 (+130)

その他*5

1,568 (△69)

顧客預金*4

1,970 (△23)

国内+海外日系	約50%
海外非日系	約50%
米州	約20%
EMEA	約10%
APAC	約20%

中長期調達*6

1,019 (△37)

市場性調達*7

1,741 (+169)

CD・CP

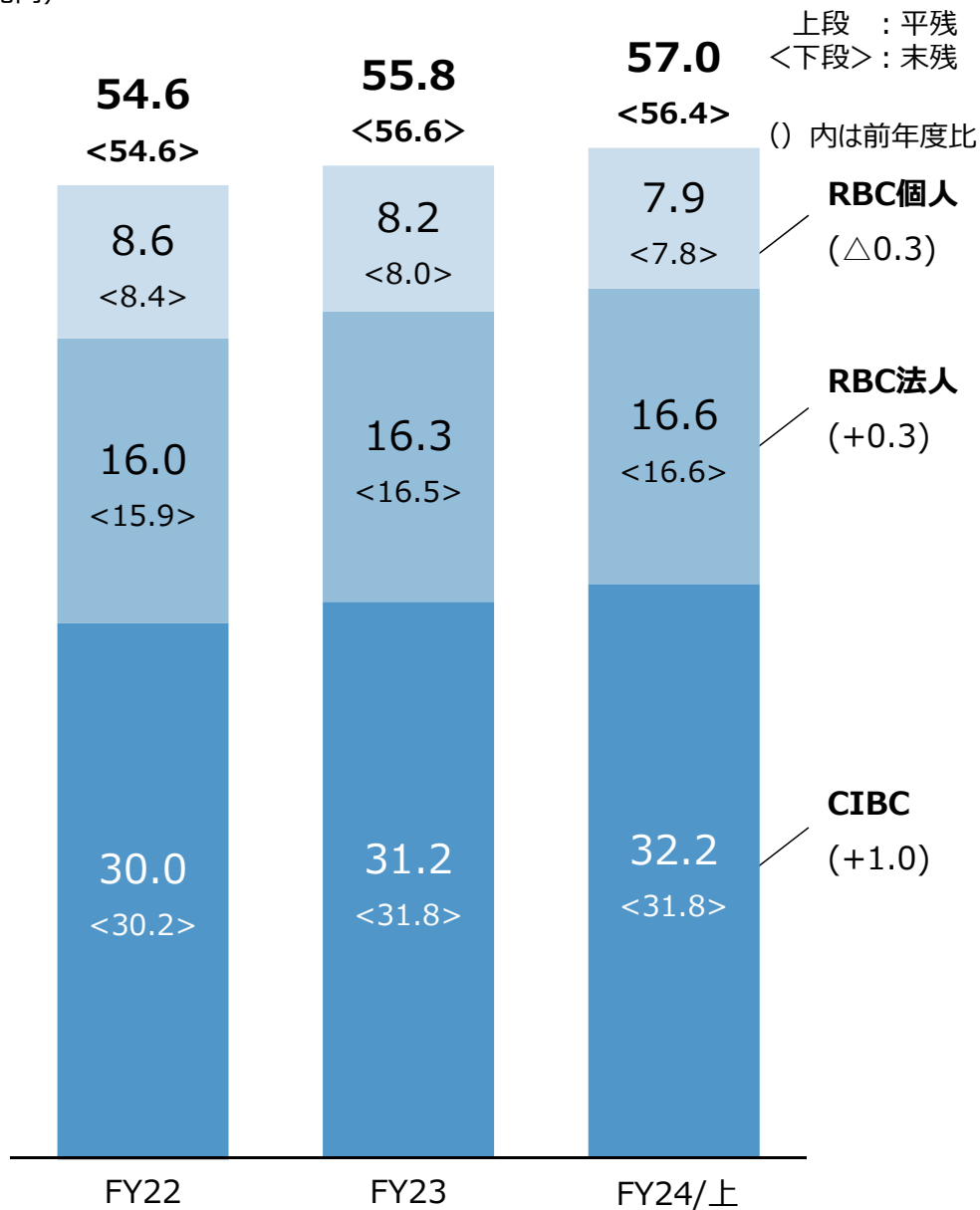
576 (+35)

*1: () は24/3末対比 *2: 2行合算 *3: BK+TB、FY24管理会計ルール *4: 中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人、国内を含む *5: 中銀預け金等

*6: 社債、通貨スワップ等 *7: レポ、インターバンク、中銀預金等

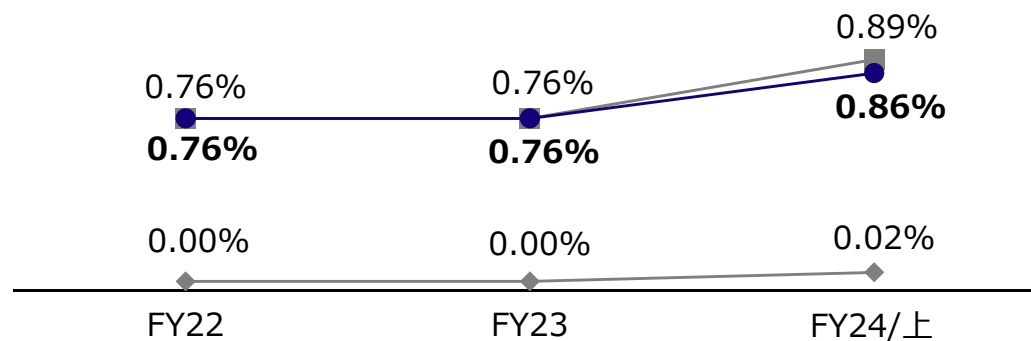
国内貸出金*1

(兆円)



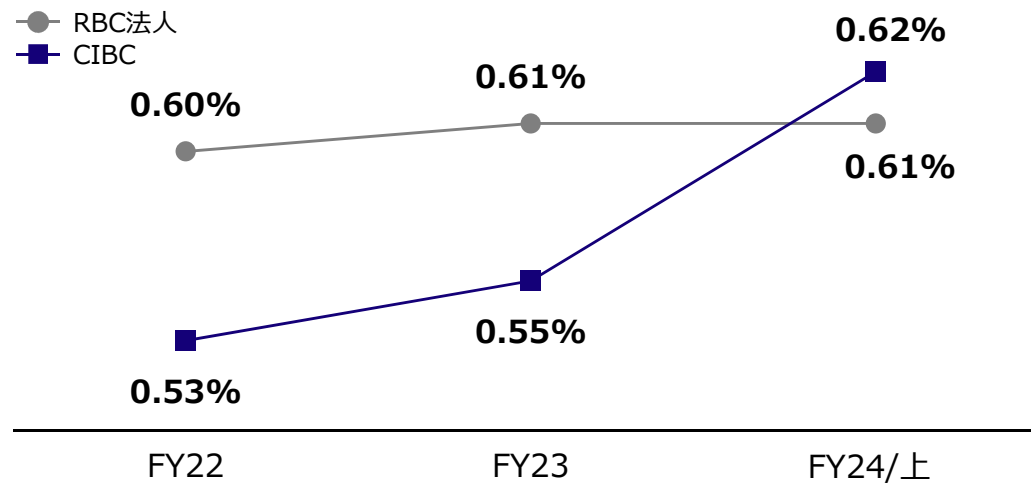
預貸金利回差*2

- 貸出金利回...a
- 預金利回...b
- 預貸金利回差...a-b



貸出金スプレッド

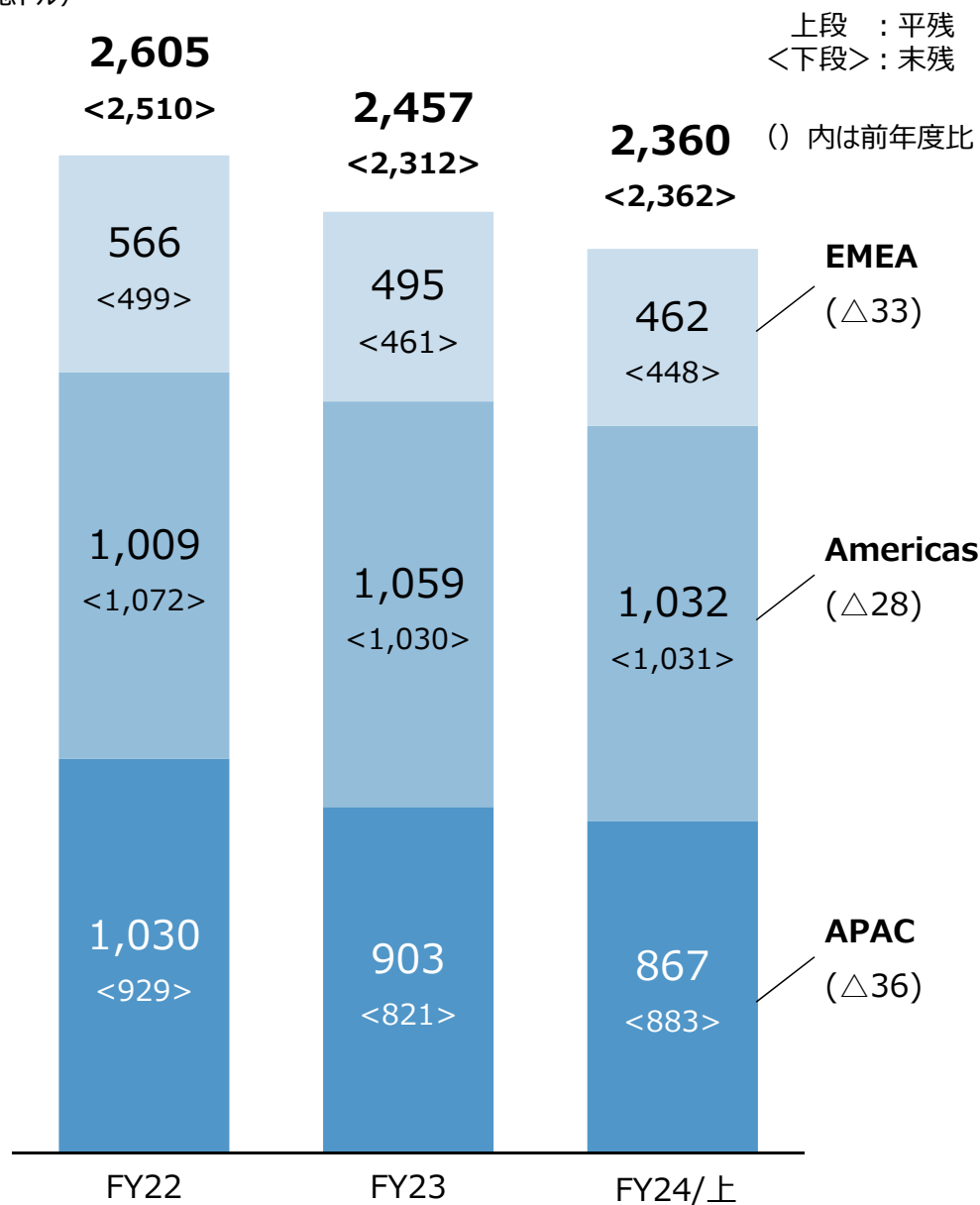
- RBC法人
- CIBC



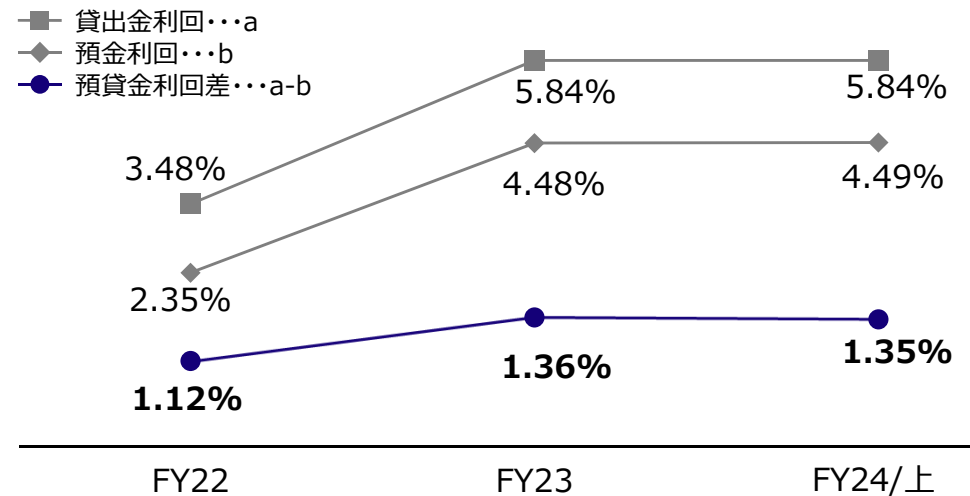
*1: BK+TB、FY24管理会計ルール（FY22～FY23は遡及修正）、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く *2: 2行合算、金融機関（FGを含む）・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

海外貸出金*1

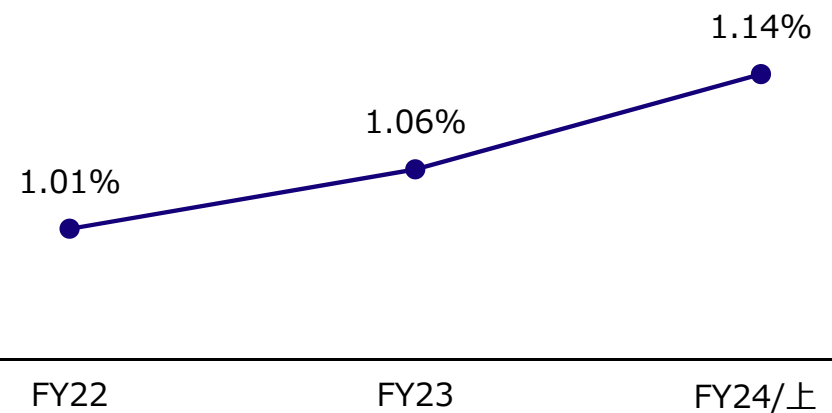
(億ドル)



預貸金利回差*2



貸出金スプレッド

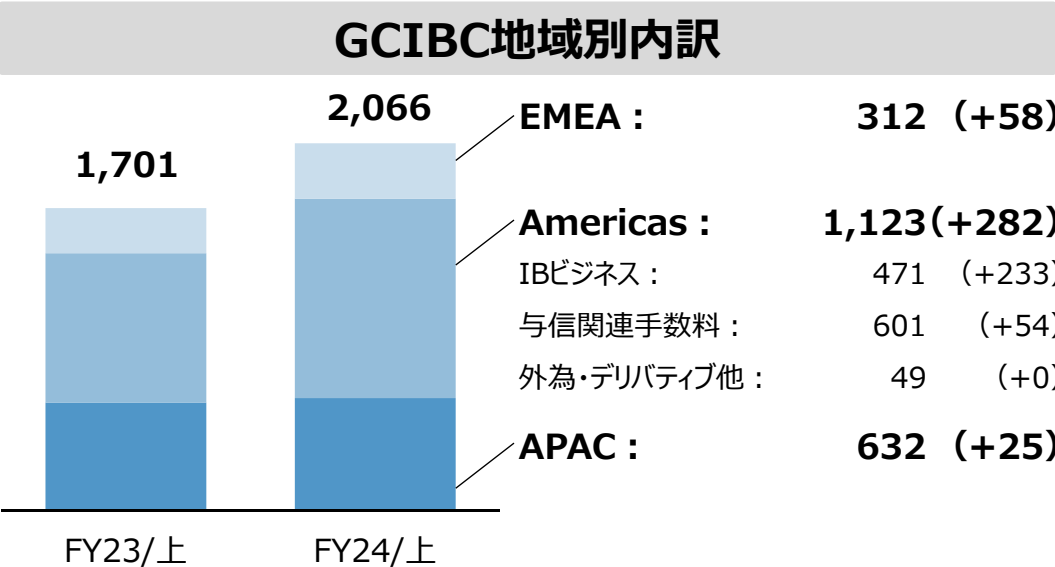
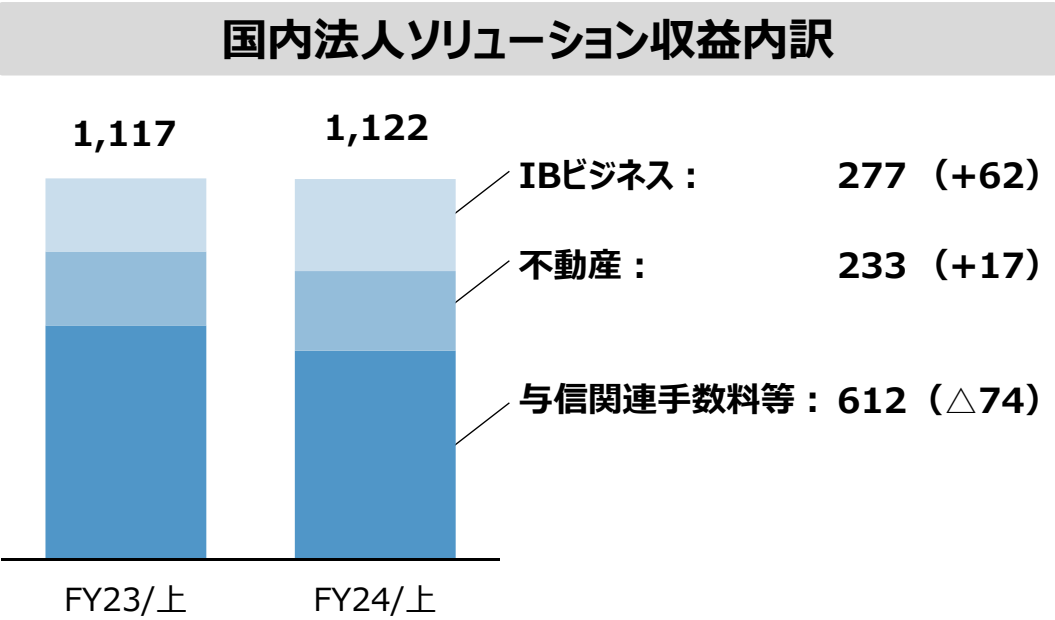
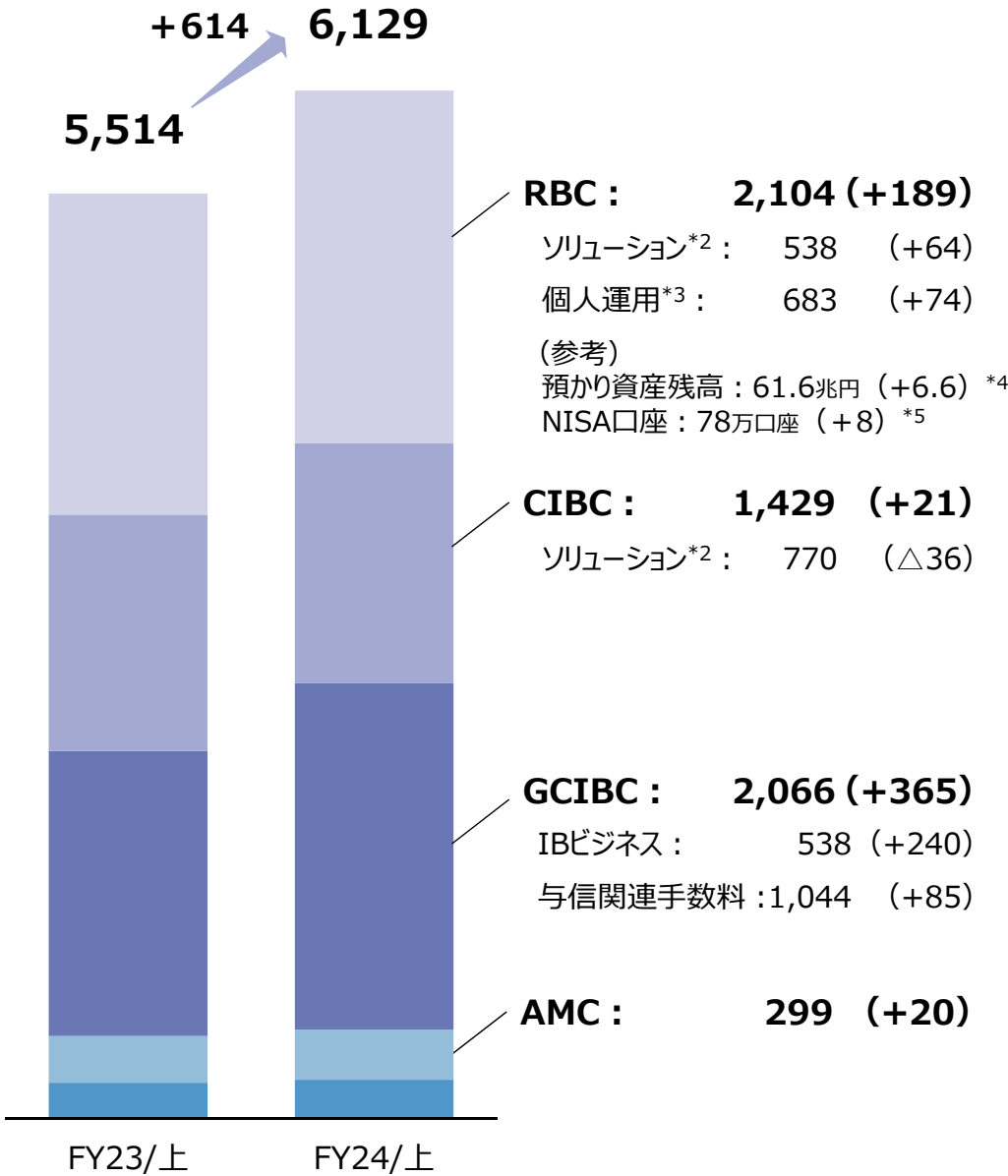


*1: BK (含む中国、米国、オランダ、インドネシア、マレーシア、ロシア、ブラジル、メキシコ現地法人)、FY24管理会計ルール (FY22~23は遡及修正)、グループ内貸出金を除く *2: BK、国際業務部門

非金利ビジネス*1

(億円)

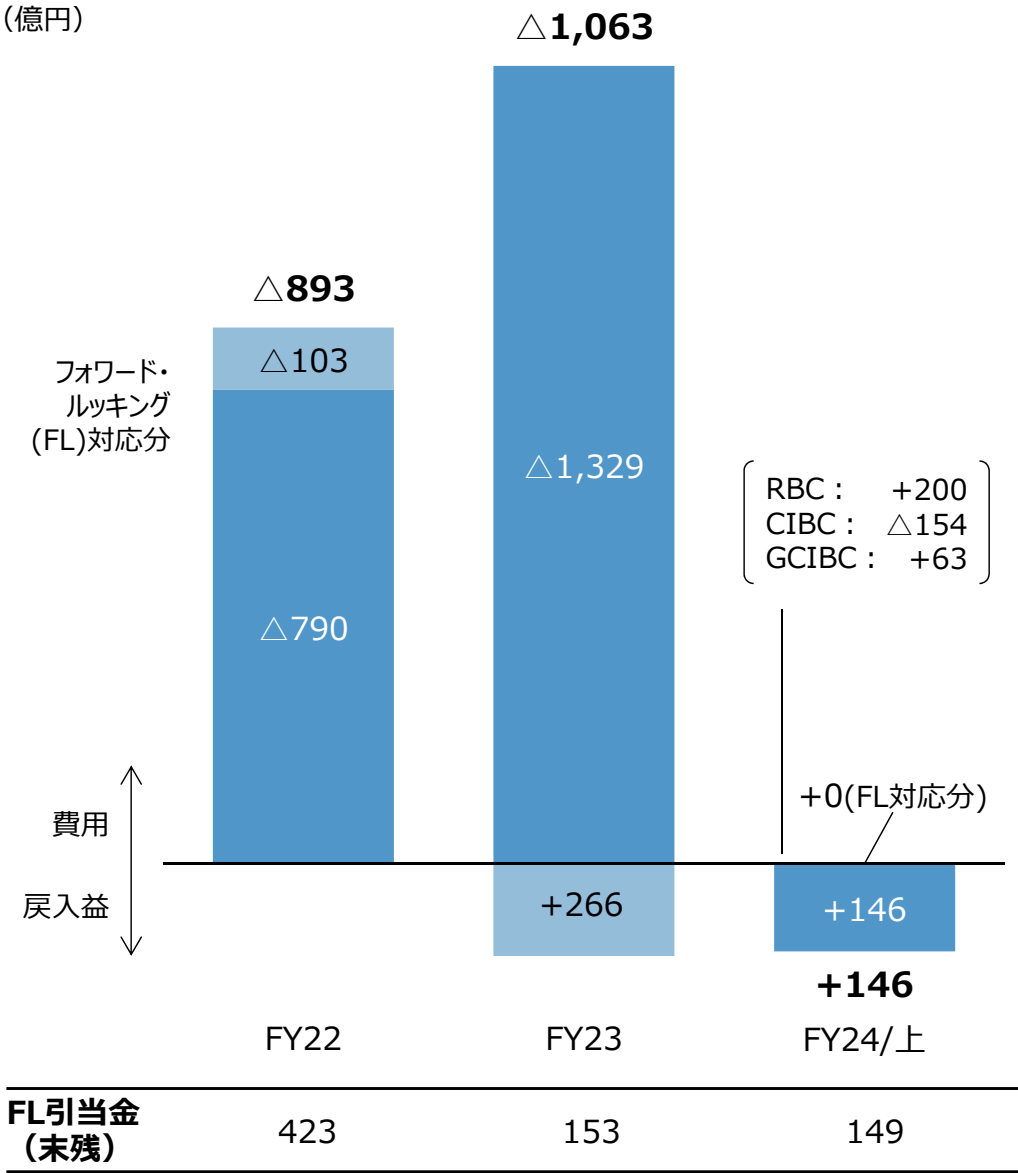
() 内は前年同期比



*1: FY24管理会計ルール、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、FY23/上: 5,351億円 *2: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む *3: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント
*4: SCリテール事業法人部門と2行合算（保険、投資信託（除くMMF）、外貨預金）の合計 *5: BK+SC

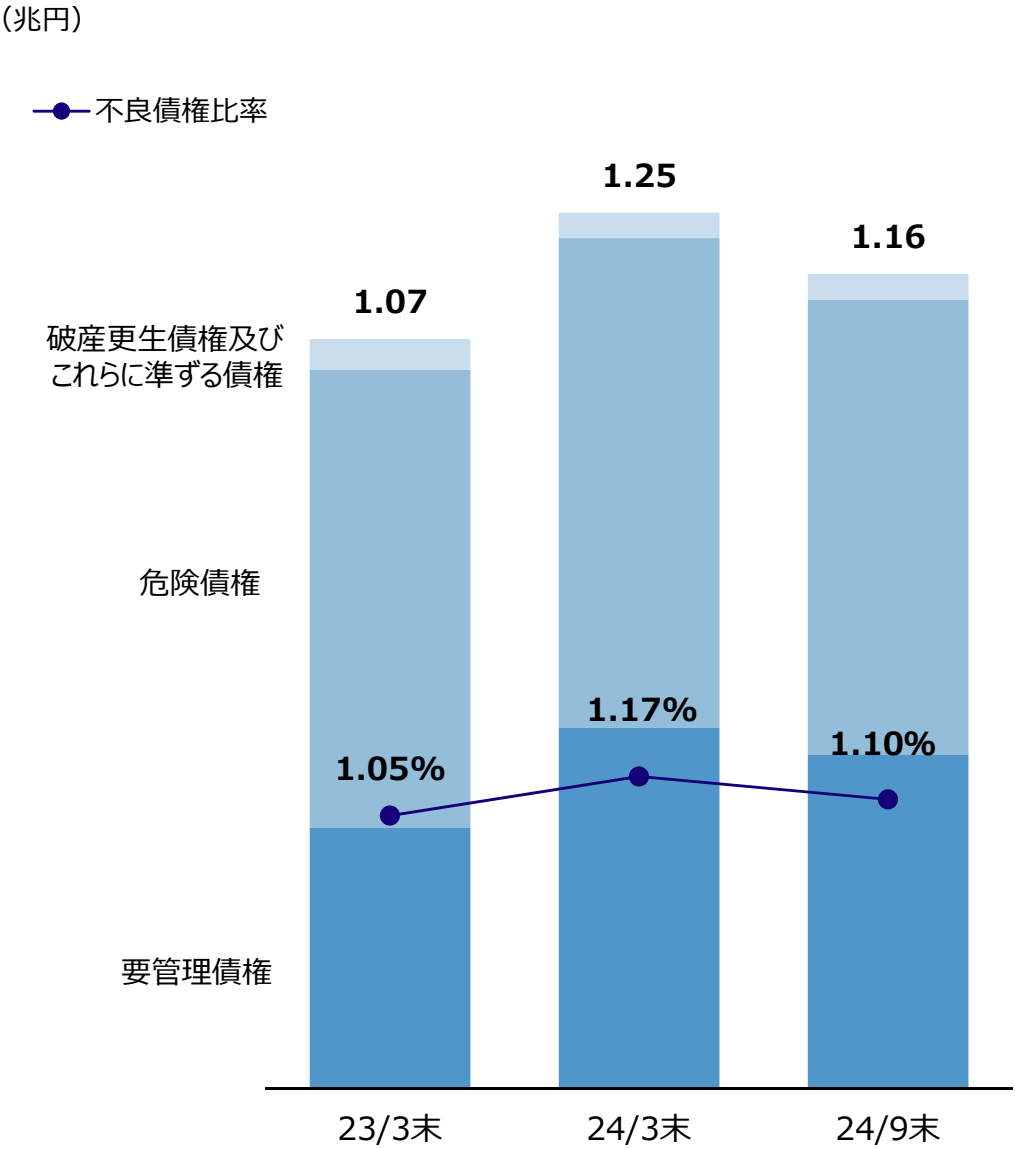
与信関係費用

連結



銀行法及び再生法に基づく債権*

連結



* 信託勘定を含む

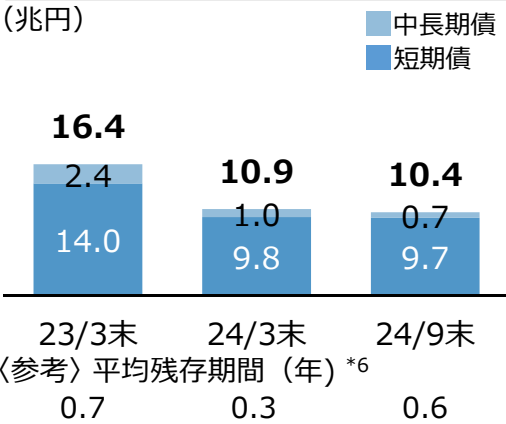
有価証券ポートフォリオ*1

その他有価証券

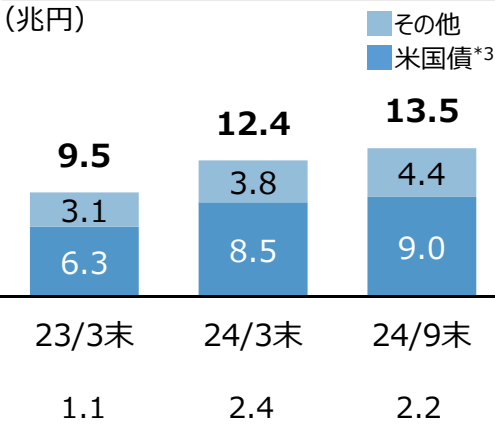
連結

(億円)	取得原価		評価差額*2	
	24/9末	24/3末比	24/9末	24/3末比
1 合計	312,712	△1,333	13,255	△1,299
2 株式	8,871	△297	19,663	△1,669
3 債券	136,605	△7,342	△443	△97
4 うち国債	104,985	△4,696	△34	△36
5 外国債券	141,687	+11,636	△4,228	+713
6 うち米国債*3	90,718	+4,988	△3,911	+698
7 その他	25,547	△5,330	△1,736	△246
8 バアファンド*4	2,518	△945	△779	+589
9 投資信託等	23,029	△4,384	△956	△836

日本国債残高*5

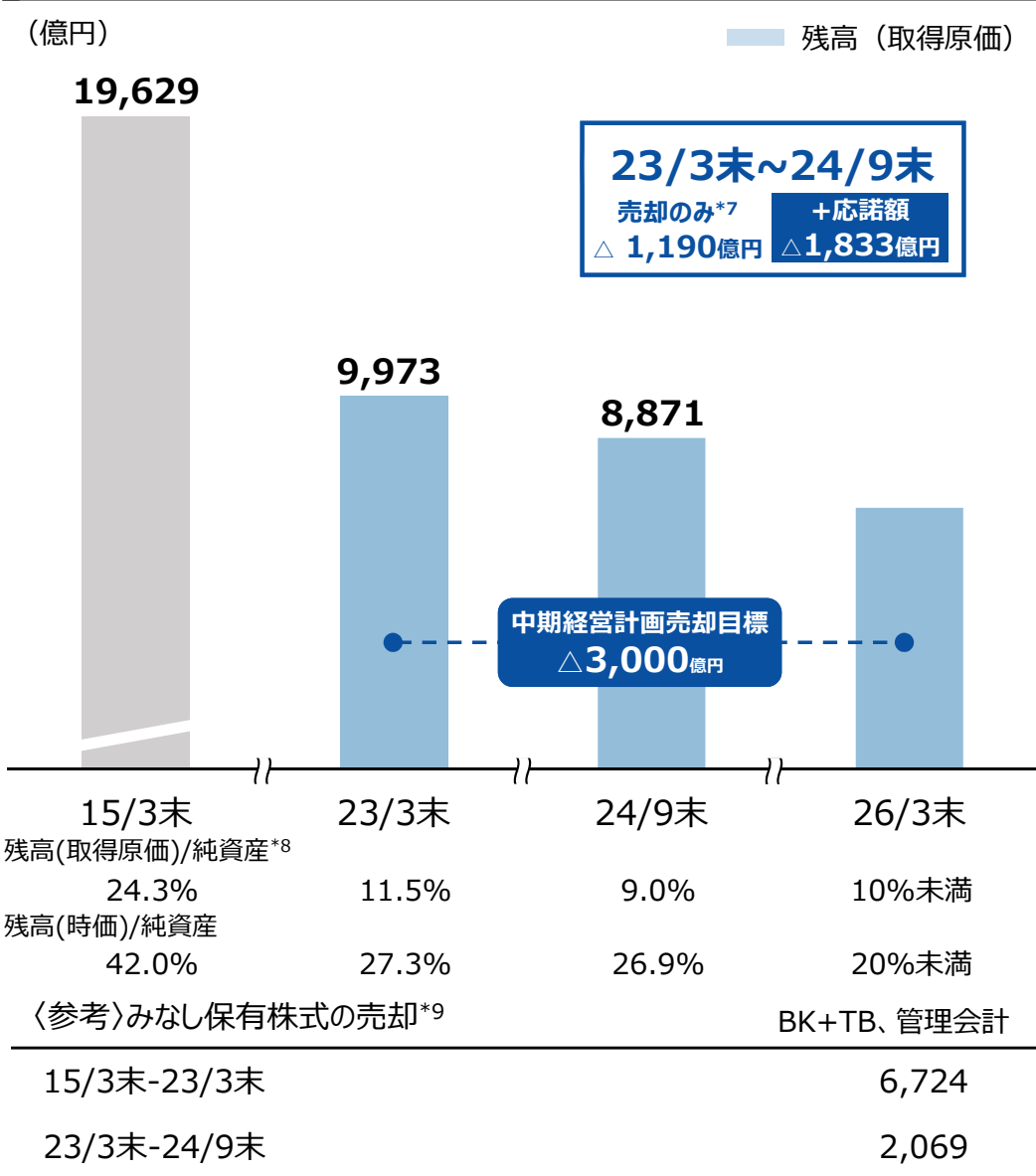


外国債券残高*5



株式残高

連結



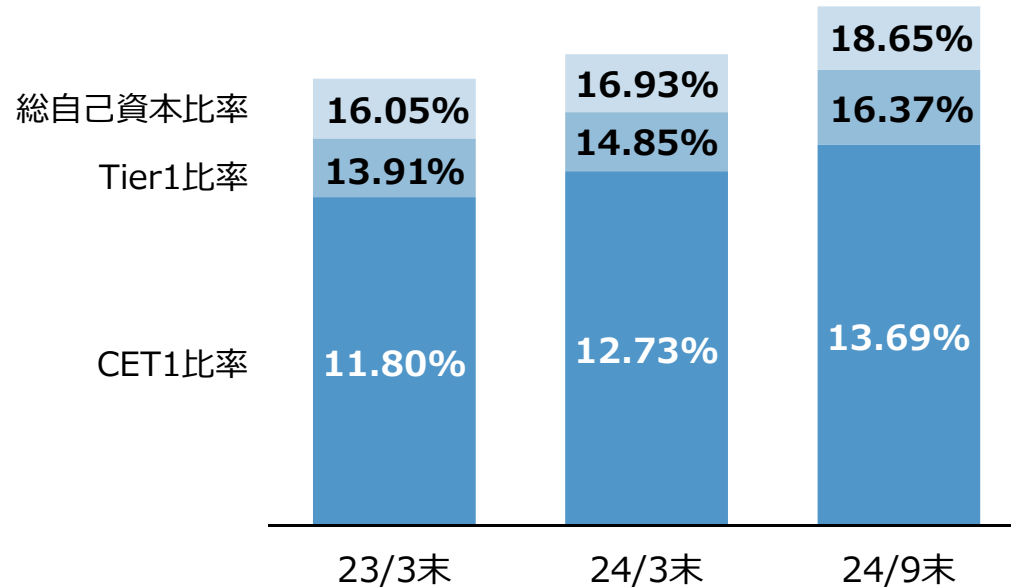
*1: その他有価証券で時価のあるもの、組合出資分を除く *2: 純資産直入処理対象分。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘案 *3: 米国債、GSE債 *4: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分
*5: 2行合算、取得原価 *6: 内部管理ベース、ヘッジ考慮後 *7: 除く退職給付信託からの返還等88億円 *8: その他有価証券評価差額金を除く *9: 一部、BK・TBの資産に計上されている金額を含む、時価

自己資本の状況

自己資本比率

連結

(億円)



	23/3末	24/3末	24/9末
総自己資本	113,069	123,146	130,132
Tier1資本	98,033	108,018	114,258
CET1資本*1	83,155	92,599	95,547
AT1資本*2	14,878	15,418	18,711
Tier2資本	15,035	15,127	15,874
リスクアセット	704,341	727,202	697,602
総エクスポージャー	2,194,411	2,293,768	2,271,547

*1: 普通株式等Tier1資本 *2: その他Tier1資本

その他規制比率

連結

	23/3末	24/3末	24/9末
レバレッジ比率	4.46%	4.70%	5.02%
外部TLAC比率			
リスクアセットベース	24.02%	25.35%	27.38%
総エクスポージャーベース	8.85%	9.17%	9.52%

〈参考〉	23/3末	24/3末	24/9末
CET1比率（完全実施ベース）	9.9%	10.5%	11.2%
同（その他有価証券評価差額金を除く）	9.5%	9.8%	10.5%

2024年度 業績見通し・株主還元

業績見通し

連結 (億円)	FY23	FY24		
	実績	上期実績	通期	5月公表比
連結業務純益 + ETF関係損益等	10,058	6,966	11,700	+1,000
与信関係費用	△1,063	146	△ 1,000	±0
株式等関係損益 - ETF関係損益等	547	390	800	±0
経常利益	9,140	7,470	11,500	+1,000
親会社株主純利益	6,789	5,661	8,200	+700

- 上期決算の高い進捗や7月の日銀による政策金利引き上げ効果を踏まえ、業績見通しを上方修正

株主還元

一株あたり配当金 (円)	FY24	
		5月公表比
中間配当金	65.0	+7.5
期末配当金（予想）	65.0	+7.5
年間配当金（予想）	130.0	+15.0

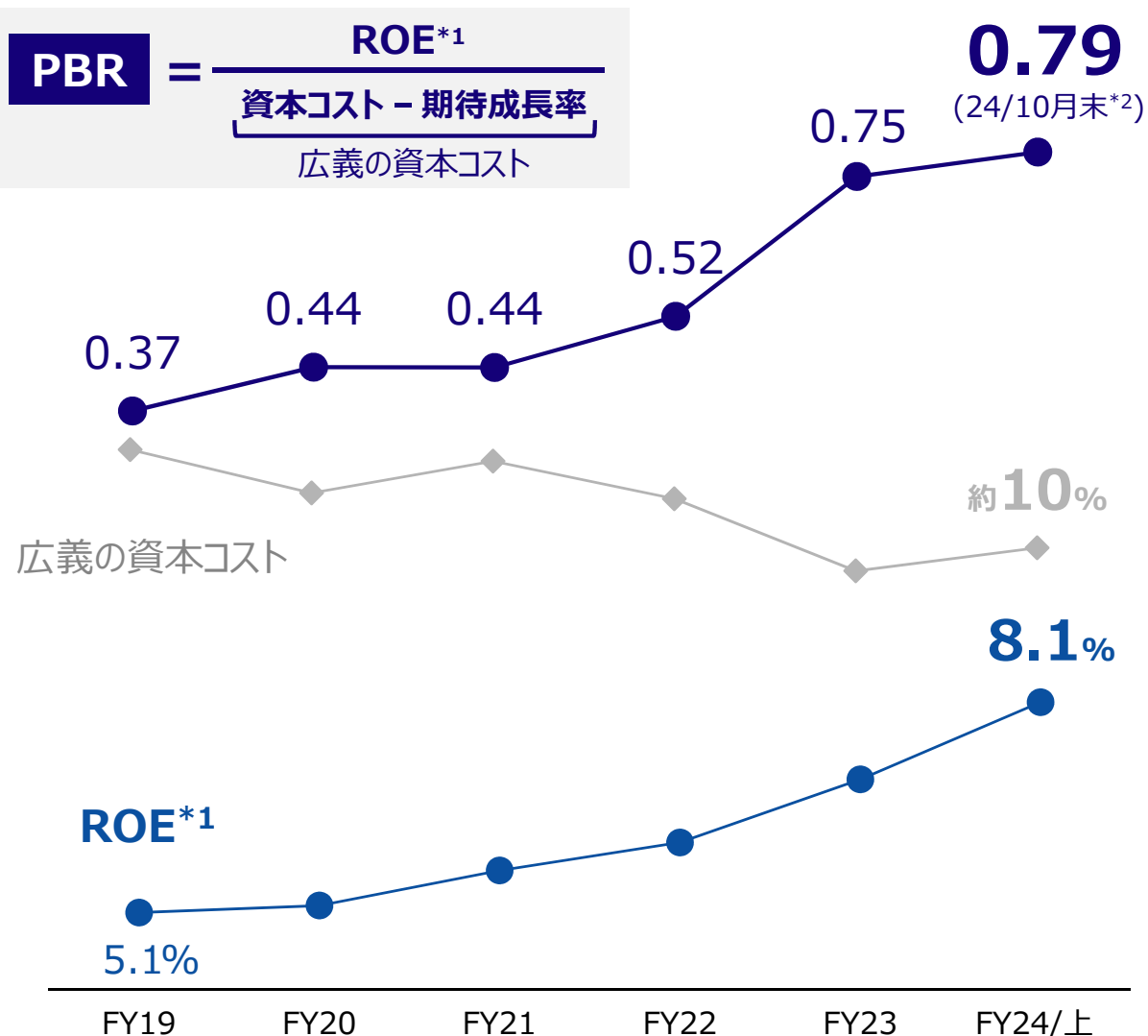
- 年間配当金（予想）を130円に増額（前年度比+25円）
- 1,000億円を上限とする自己株式取得を決議。取得株式は全株消却予定

【見通しの前提となる金融指標】 日本国債10年利回り: 1.02%、日経平均株価: 38,753円、ドル円: 135円

PBR改善に向けた進捗状況

■ PBRは1倍に未達も、着実な利益成長と規律ある財務運営によりPBR・ROEは向上

PBR・ROEの推移



*1: 自己資本当期純利益率。その他有価証券評価差額金を含む。直近12ヵ月 *2: 24/10月末時点株価（出所/Bloomberg）

PBR改善に向けた取り組み

ROE向上

- ・ 着実な利益成長の実現
- ・ アセット採算性向上
- ・ 効果的な資本活用

RORA
向上
・
CET1比率
コントロール

資本コスト抑制

- ・ 経費率コントロール
- ・ 与信関係費用の抑制
- ・ 収益多様化
- ・ 相互補完性の向上

ボラティリティ
抑制

- ・ サステナビリティへの取り組み
- ・ 経営への信認向上
- ・ 日本経済への働きかけ

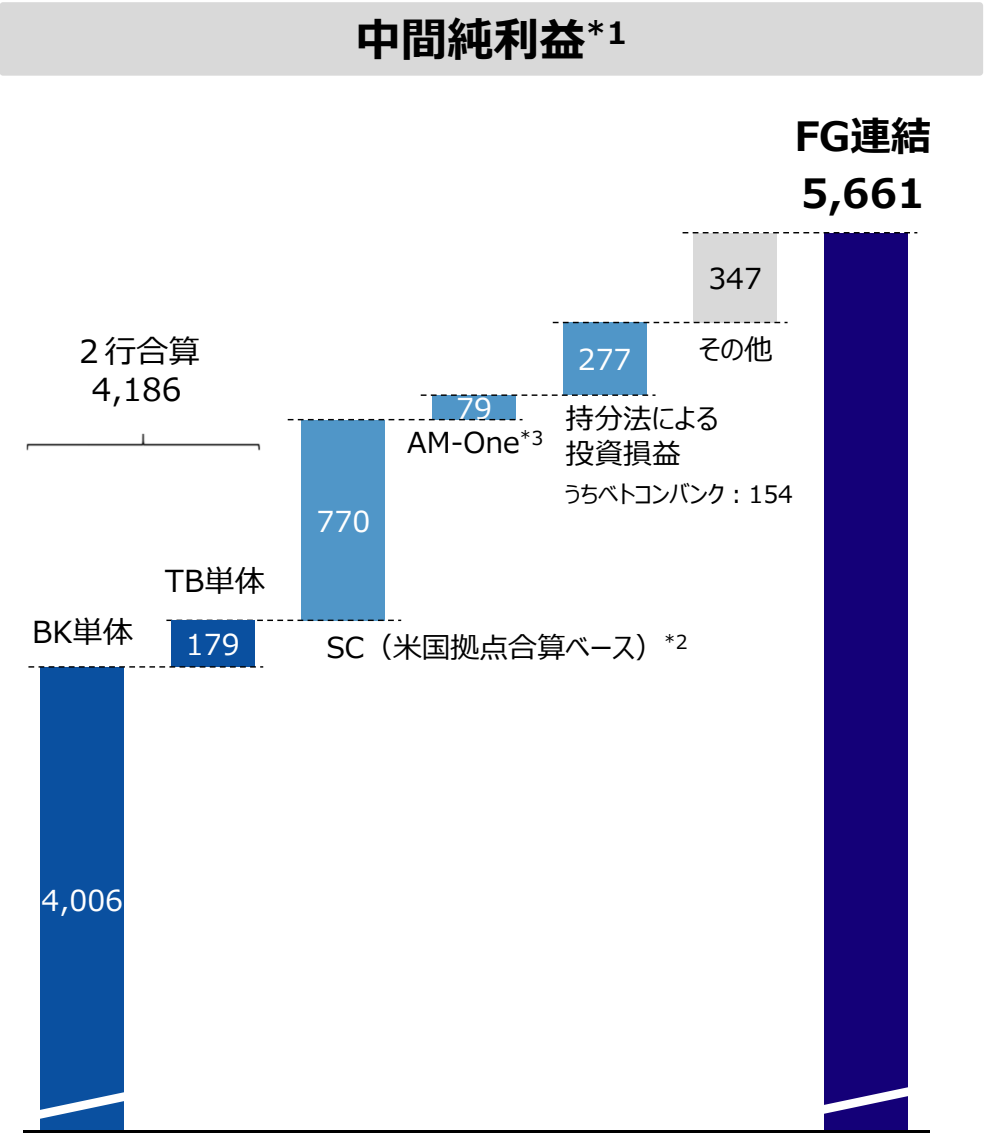
期待醸成

グループ会社別業績

(億円)

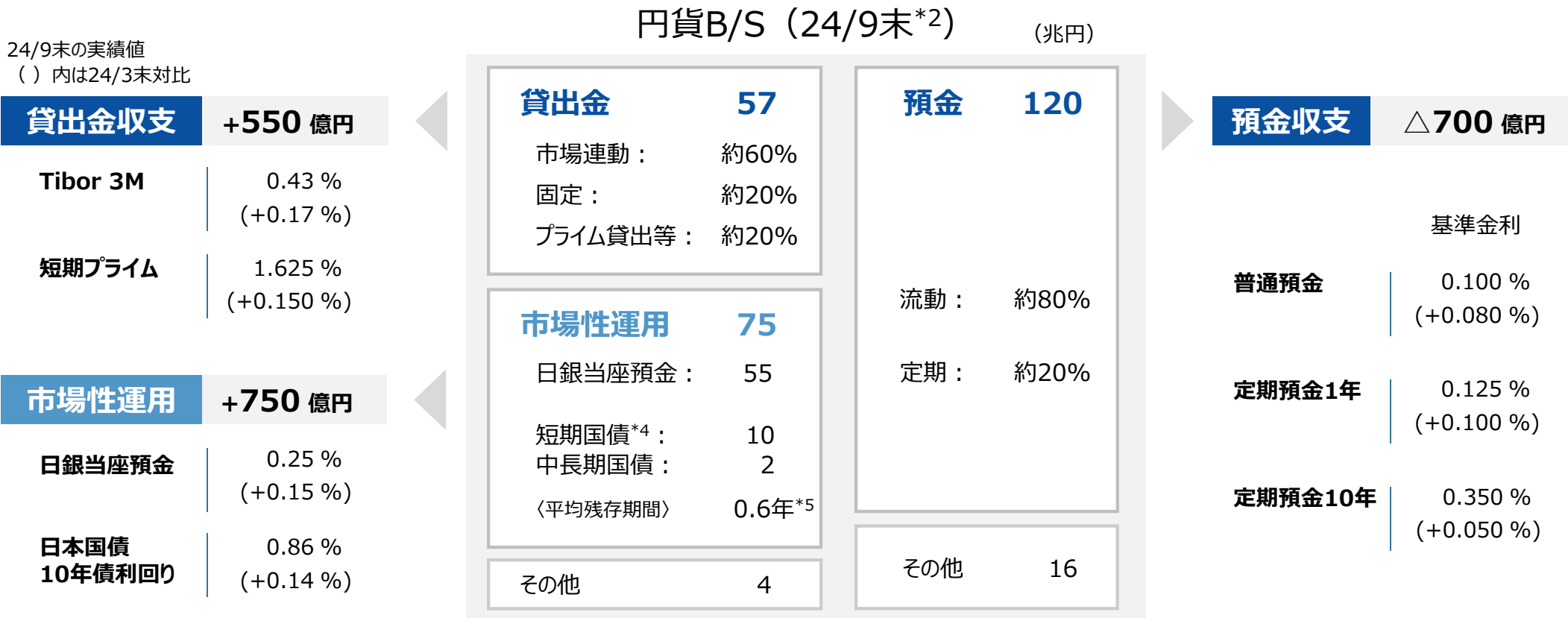
業務純益 ^{*1}	FY23 中間期	FY24 中間期	前年同期比
BK単体	3,600	4,688	+1,088
TB単体	96	99	+2
SC（米国拠点合算ベース） ^{*2}	830	1,160	+330
AM-One ^{*3}	100	121	+21
持分法による投資損益	235	277	+42
その他	681	618	△62
FG連結	5,543	6,966	+1,422

中間純利益 ^{*1}			
BK単体	2,508	4,006	+1,498
TB単体	120	179	+59
SC（米国拠点合算ベース） ^{*2}	918	770	△148
AM-One ^{*3}	65	79	+13
持分法による投資損益	235	277	+42
その他	308	347	+38
FG連結	4,157	5,661	+1,503



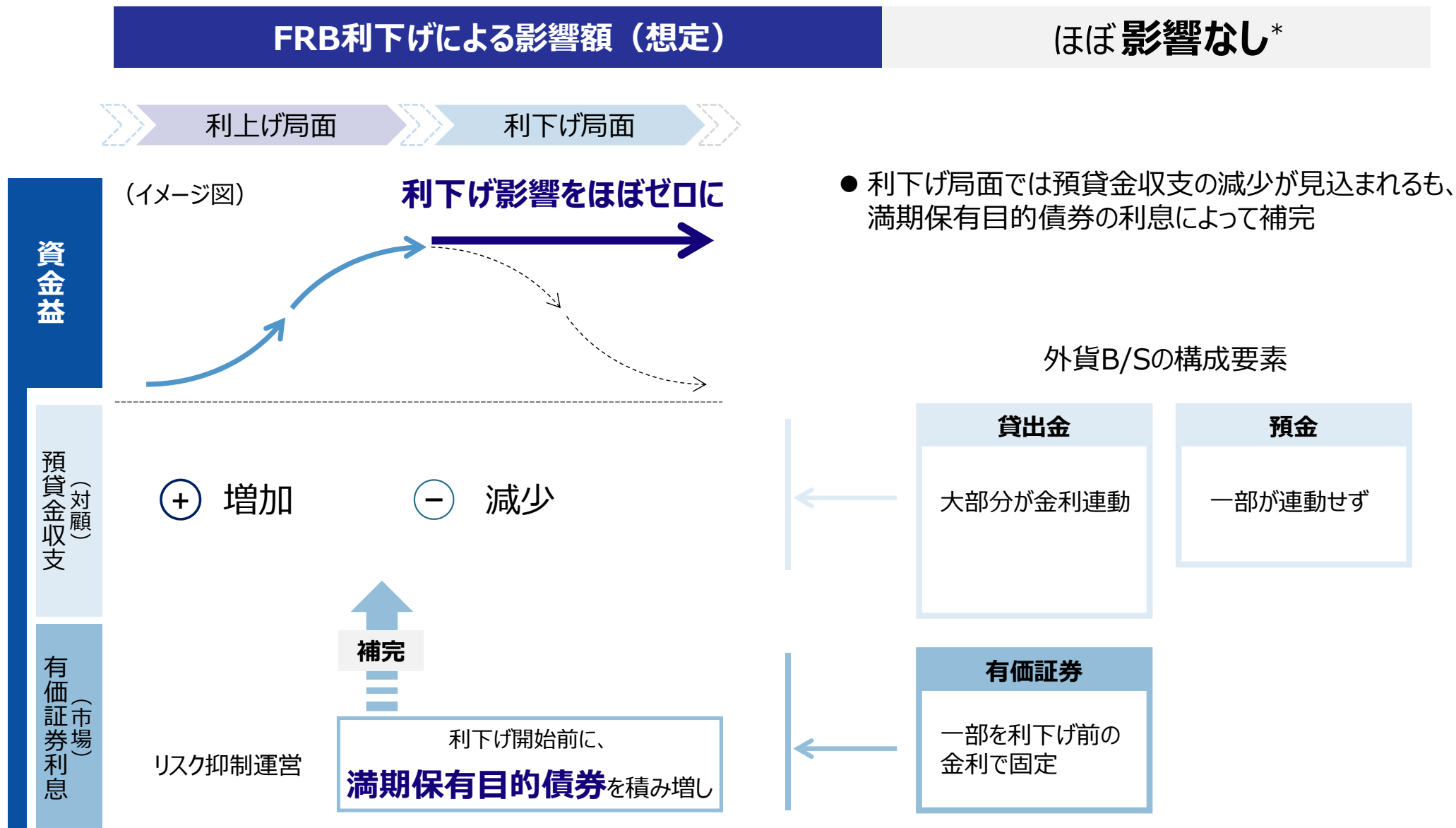
^{*1}: ETF関係損益等を含む。連結調整前の概数 ^{*2}: 業務純益はSC連結計数に、SC連結対象会社でないMSUSA等の米国拠点の計数を単純合算したもの。中間純利益は同米国拠点を含んだ社内管理ベースの計数。米国拠点の計数は業務純益626億円、中間純利益458億円 ^{*3}: 連結、のれん等償却を除く

(参考) 日銀利上げによる財務影響 (通年)



(参考) FRB利下げによる財務影響

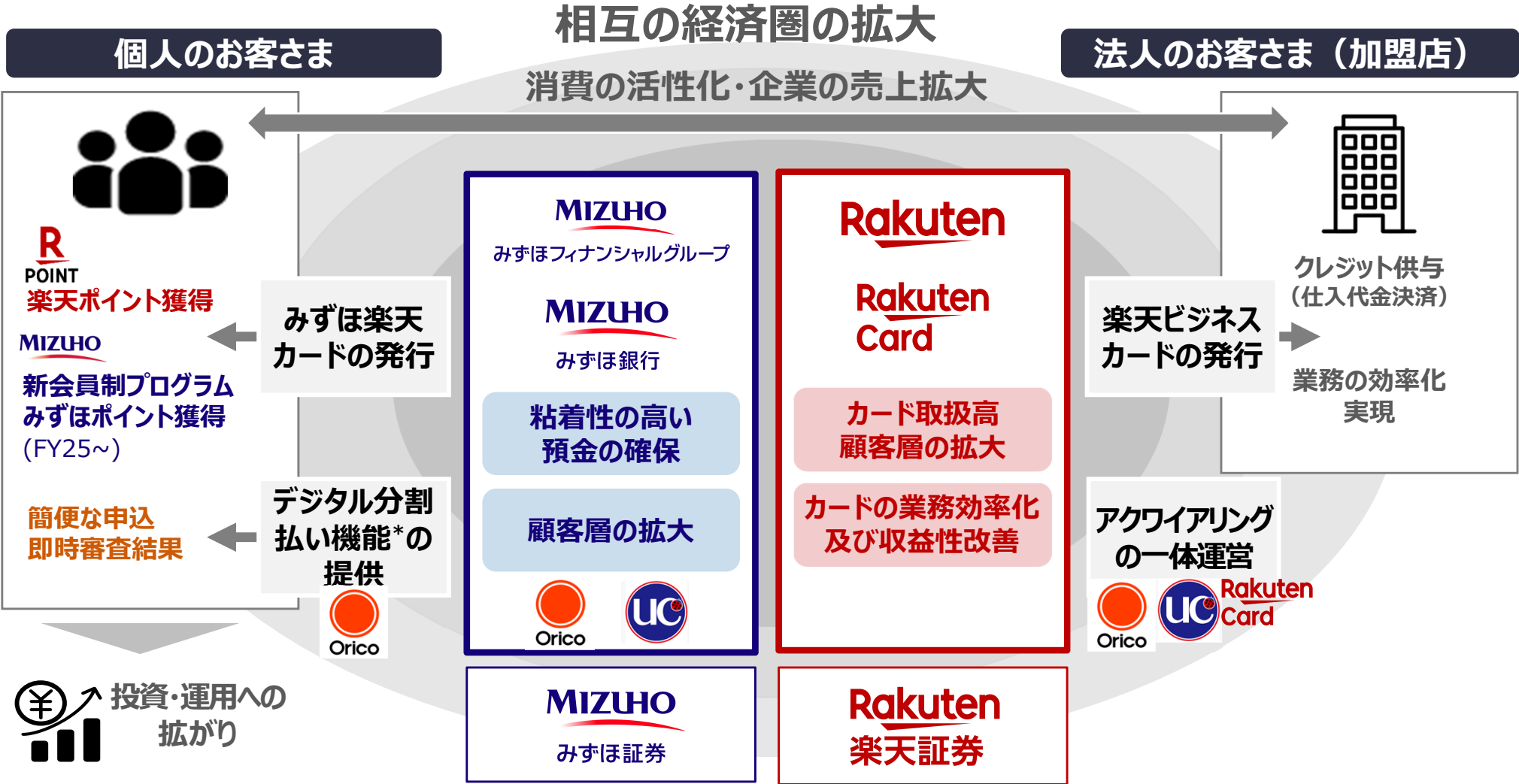
■ 外貨満期保有目的債券の積み増しによって、米国金利低下への耐性を強化



* 一律金利低下を前提とするリスクモニタリング上の試算。1年間のキャッシュフロー影響額

楽天グループとの業務提携を通じたビジネスの全体感

- 業務提携を通じ、個人・法人のお客さまに利便性・利得性の高いサービスの提供を検討するとともに、提携先とのWin-Winの関係を構築



* オリコ独自のAI与信（性能規定与信）に基づく、長期分割払いの枠を提供するサービス

楽天グループとの連携進捗

■ 楽天証券との業務提携に伴うビジネスは着実に進捗。楽天グループとの更なる連携加速を目指す



ステアリング・コミッティ等の開催

- 経営トップ主導、月次での開催継続中
- ビジネスに関する理念の共有、具体的な事業・マーケティングの方向性を議論

対面コンサルビジネスの強化

- 楽天証券と共同出資でMiRaI設立（24年4月）、MiRaI向けファンドの設定
- 開業後半年でセミナー参加者約900名（24年下期、上期対比2倍を計画）

利便性の向上に向けた取り組み

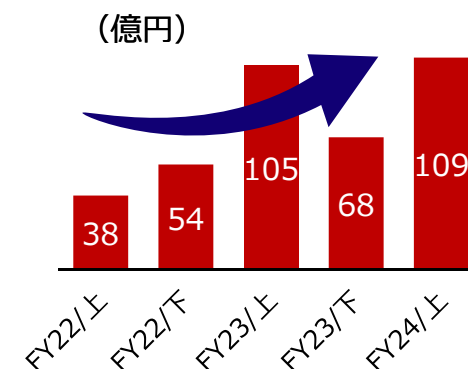
- らくらく入金・残高表示サービス（24年3月）、年度内に入出金連携拡大予定
- その他、UI/UX連携についても拡大予定

商品・サービスの連携強化

- IPO/PO(30件)、債券プライマリー(20件)、債券セカンダリー(150件超) 公開買付代理人業務での連携開始
- 法人取引先向けに楽天証券提供の「IRサポートサービス」紹介実施

両社の連携も寄与、
楽天証券の成長は加速

楽天証券 当期純利益推移*



* 12月決算、開示資料を基に作成

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG：	みずほフィナンシャルグループ	RBC：	リテール・事業法人カンパニー
BK：	みずほ銀行	CIBC：	コーポレート&インベストメントバンキングカンパニー
TB：	みずほ信託銀行	GCIBC：	グローバルコーポレート&インベストメント
SC：	みずほ証券		バンキングカンパニー
MSUSA：	米国みずほ証券	GMC：	グローバルマーケットカンパニー
AM-One：	アセットマネジメントOne	AMC：	アセットマネジメントカンパニー

為替レート

■ 管理会計		■ 財務会計（期末TTM）			
	計画レート		23/9末	24/3末	24/9末
USD/JPY	135.00	USD/JPY	149.58	151.40	142.82
EUR/JPY	143.44	EUR/JPY	157.97	163.28	159.53

計数の定義

財務会計

連結業務純益	： 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）＋持分法による投資損益等連結調整
ETF関係損益等	： ETF関係損益（2行合算）＋営業有価証券等損益（SC連結）
経費（除く臨時処理分等）	： 経費（除く臨時処理分）－のれん等償却
経費率	： 経費（除く臨時処理分等）÷（連結粗利益＋ETF関係損益等）
親会社株主純利益	： 親会社株主に帰属する中間純利益
2行合算	： BK単体＋TB単体
普通株式等Tier1比率（ その他有価証券評価差額金を除く ）	： ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む、内部管理ベース [分子] その他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益を控除 [分母] その他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスク・アセットを控除

管理会計

顧客部門	： RBC、CIBC、GCIBC、AMCの合計
市場部門	： GMC
グループ合算	： BK、TB、SC、および主要子会社等の合算
カンパニー別業務純益	： 業務粗利益＋ETF関係損益－経費（除く臨時処理分等）＋持分法による投資損益－のれん等償却
内部リスク資本：	： 規制上のリスク・アセット、バンキング勘定の金利リスク等に基づき算出されたリスク資本。RBC・CIBC・GCIBCについては、完全実施ベースを使用。速報値
カンパニー別ROE：	： 当期純利益÷各カンパニーの内部リスク資本